

# 2023～2024年度 小倉中央ロータリークラブ週報



世界に希望を生み出そう

第1342回 例会

6月24日(月)

本日の卓話 2023-2024年度 年度末夜間例会

於：リーガロイヤルホテル小倉

例会日 月曜日 12:30～13:30  
 例会場 リーガロイヤルホテル小倉  
 事務所 小倉北区堺町1-2-16-3F  
 TEL 093-531-4015  
 FAX 093-531-1022

会長の時間（6月17日 1341回 例会記録）

梶原会長

出席報告 6月17日

会長の時間で「君が代へブライ語説」をご紹介しましたが、使われている単語の年代や文法の問題があり、今は否定されていると説明致しました。

では、君が代はどういう経緯で今に至ったのでしょうか。

そもそもの出典は「古今和歌集」です。醍醐天皇の勅命により、万葉集に選ばれなかった古き良き歌を集めたもので、905年に奏上されましたが、現存するものは、913年に完成したとされています。古今和歌集は“巻第一春歌上”から始まって全二十巻で構成されています。その中の“巻第七賀歌”に君が代の原型となった歌があります。その歌は「わが君は 千代に八千代に 細石の 巖となりて 苔のむすまで（詠み人知らず）」です。冒頭が少し違うのが分かると思います。

これを解説していきましょう。まず、賀歌（がのうた）の巻に収録されている事から、誰かをお祝いする為の歌だという事が分かります。その誰かとは「わが君」です。この「君」というのは自分が尊敬する目上の方を指します。つまり、親、祖父祖母、師匠（先生）、先輩、時の偉人などになります。例えば「おじいちゃん誕生日おめでとう これからも長生きして下さい」という気持ちを表す時に使われる歌なのです。

その後1013年に「和漢朗詠集」が編纂されます。「朗詠」とは和歌に節を付けて詠う事で「朗詠集」とは今で言うカラオケ本といった所でしょうか。（カラオケより遙かに高尚です）上記の和歌はよほど認知された有名な歌だったのでしょう。120年後に編纂された朗詠集に選ばれました。この時、現在の君が代の歌詞に変化しました。そうすると歌の意味も少し変わってきます。どうなるかという「（尊敬する）貴方のいる時代が長く続きますように」となります。これを国歌として歌う場合は、君とは当然天皇陛下を意味します。それを踏まえて意味を解釈してみましょう。

「君が代は」・・・「天皇陛下のいらっしゃる時代」となります。

「千代に八千代に」・・・「代」というのは一人の人間が生きている間を指す言葉です。つまり「人の1000倍も、8000倍も」と言う事になりますが、この際は、数字にこだわるのではなく「ずっとずっと長く」と解釈します。

因みに皇居の住所が「千代田区千代田一」なのはこれから来ていると言う説があります。

「細石の 巖となりて 苔のむすまで」・・・細石とは小さな粒の石が何万年も掛けて、石灰質などと合わさり大きな石になったものです。それが巖（大きな岩）になり、さらに周りに苔がびっしり生えるまでと言う意味になります。これまた長寿であって欲しいという比喻ですが、先ほどより遙かに長い期間（何万年）を意味します。

まとめますと「天皇陛下におかれましてはいつまでも長生きして頂き、この素晴らしい代が永劫に続きますように」といった感じです。

この歌が長きに亘り詠い継がれ、明治時代に入って外国に国歌を示す時に選ばれたという訳です。

世界一古く、世界一短い歌詞である国歌「君が代」を、これからも大切に歌い継いでいきましょう。

在籍会員数	43名
義務出席者	39名
ゲスト	0名
ビジター	0名
本日出席数	33名
本日出席率	84.61%
前々回修正出席率	95.34%

次回（7月1日）の卓話は、

2024-2025年度  
河野会長 あいさつ

## 6月のお誕生日

11日 鎌水 裕介 会員  
 16日 池浦 泰徳 会員  
 24日 上田 泰博 会員

## 今月の主な予定

1日(土) IA7校合同例会  
 3日(月) 定例理事会  
 14日(金) イレブンの会  
 17日(月) 次年度理事会  
 19日(水) 二水会

## 幹事報告

森本幹事

- ・本日のクラブ協議会、よろしくお願い致します。各委員長の皆さんは、一人2分程度で報告をお願いします。
- ・次週6月24日(月)は、年度末夜間例会です。  
18:30よりこの例会場にて開催です。昼の例会はありません。
- ・BOXの中の資料等は、本日お持ち帰りください。名札のみ置いて帰って下さい。

## ニコニコ献金報告

累計 613,750円

梶原・森本・野村会員—今年度集大成のクラブ協議会、発表者の皆さま、どうぞよろしくお願い致します。

浅海会員—父の日に家族全員で会食をすることが出来、感謝いたします。

大西会員—先日、車のドアに指をはさみ、骨折してしまいました。自分のどんくさに撃沈しています。

林田会員—我が社の“残心雄町 60”が仏の KURA Master-2024 でプラチナ賞を受賞しました。1223社出品で純米部門ですが100点満点で93~100点の中に入りました。日本酒、焼酎の国際コンクールで世界中の日本酒ファンに魅力を伝えるために設立された世界に誇る日本酒の品質を証明する賞のようでしたのでニコニコします。

田村会員—森本さん、先日は、杵を譲って頂いて有難うございました。お陰様で家内孝行できました。

野村会員—息子と釣りに行ってきました。大きなカニが引っ掛かり、息子は大喜びでしたのでニコニコいたします。

合計 14,000円



## 卓話の時間

## クラブ協議会 「2023-24年度 活動報告」

クラブ運営について

会計

長期計画委員会

例会委員会

親睦活動委員会

会員選考委員会

会員増強委員会

職業奉仕・国際奉仕委員会

社会奉仕・青少年奉仕委員会

会報・雑誌委員会

広報・ロータリー情報委員会

ロータリー財団・米山委員会

友好クラブ委員会

会場監督

梶原会長

長戸会員

林田委員長

狩野委員長

田村委員長

浅海委員長

光應委員

大西委員長

鎌水委員長

巫部委員長

湯口委員長

細川副委員長

羽地委員長

野村 S A A

